

**生徒たちの交流**  
本市の生徒の派遣、ホットスプリングス市の生徒の受け入れなど、生徒同士の交流事業も盛んに行われています。本市の生徒の派

平成18年4月25日には、市町合併後の新市として、同提携盟約書を更新し、さまざまな交流を続けています。

調査団の相互訪問などを経て、平成4年9月に両市が姉妹都市提携に向けて努力していく旨の確認書を締結。翌5年1月15日にホットスプリングス市内のホテルで「国際姉妹都市提携盟約書」を取り交わし、両市の交流が始まりました。

当時の花巻市民憲章に国際化がうたわれたことから、その事業の中心として国際姉妹都市交流を検討。調査する中で候補に挙がったのが、花巻市と同じ美しい自然や温泉に恵まれたホットスプリングス市でした。

**コロナ禍を乗り越えた友情**  
交流の始まり  
本市とホットスプリングス市との交流のきっかけは、昭和59年にかかのぼります。

遣は、姉妹都市提携前の平成3年度から行っており、交流を深めてきました。また、市内にある五つの小中高等学校および二つのロータリークラブが、それぞれホットスプリングス市の相手先と姉妹関係を結び、相互に訪問するなど交流を行っています。

**コロナ禍を越えて**

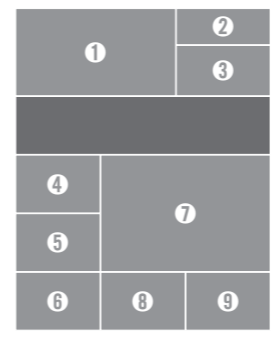
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度を最後に両市民がお互いの市を訪問することができなくなりました。しかし、交流が途絶えることはなく、オンラインによる交流を続け、今年1月15日には、姉妹都市提携30周年を迎えたことを記念し、両市関係者によるオンライン懇談会を実施。締結当時の思い出や、過去のおもてなしへの感謝、交流の継続を願う気持ちを伝えあい、9月の花巻まつりに合わせた訪問での再会を誓い合いました。



▶オンライン懇談会の様子



**ホットスプリングス市 姉妹都市提携30周年**



- ①ホットスプリングス市のメイン通り「セントラルアベニュー」
- ②5月にオープンしたアーカンソー州初の酒蔵「オリガミサケ」
- ③歴史ある温泉施設が立ち並ぶ通り「バスハウス・ロウ」
- ④平成5年姉妹都市提携調印式の様子
- ⑤平成19年ホットスプリングス国立公園175周年記念での鹿踊演舞の様子
- ⑥平成30年提携25周年記念ホットスプリングス市訪問ツアーの様子
- ⑦平成30年ホットスプリングス市民受け入れの様子
- ⑧令和元年ホットスプリングス市教員受け入れの様子
- ⑨令和元年ホットスプリングス市高校生受け入れの様子

**ホットスプリングス市はどんなところ？**

**位置**…米国アーカンソー州の中西部、州都リトルロックから南西へ約88キロ  
**行き方**…日本から空路でテキサス州ダラス空港、乗り継いでアーカンソー州リトルロック空港へ。そこから陸路でホットスプリングス市に到着(一例)  
**人口**…約38,000人  
**面積**…約85.5平方キロ(花巻市の約10分の1)  
**日本との時差**…15時間(夏時間では14時間)



▼ホットスプリングス市の源泉の一つ



市名のとおり温泉地が有名な街で、観光都市・保養都市として人気を集めています。香川県高松市とほぼ同じ緯度のため本市と比べると温暖ですが、冬にはわずかながら積雪も見られます。街の至るところから湧き出している温泉には、スタンドが設置されており、温泉水を自由に持ち帰れます。ホットスプリングス国立公園で採水されたミネラルウォーターは、北米随一の名水として知られています。また、市内中心部にはギャラリー(画廊)が多く建ち並び、芸術振興にも力が注がれています。